



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.66
2016年 1月号

公益財団法人
School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

コンポンチュナンで地域密着！！

皆さんこんにちは。1月のカンボジアは1年の中で最も寒くなります。雨はあまり降りませんが、朝の気温は15度前後まで下がり、夜明けはとても肌寒く風邪をひく人も多くなります。朝の作業では朝露がまだレモングラスの葉の上に残っており、雨の降らない乾期には作物への貴重な水として重宝しています。朝の冷え込みに感謝しつつ、今月の報告をさせて頂きたいと思います。

◇地元農家さん視察・調査

レモングラスの栽培を普及するために農家さんが持っている田畑の面積や条件、年間世帯収入の調査を行いました。2家族に聞き取りを行いました。ほぼ同じ結果で年収は4,000\$程。その中でお米が占める割合は1割。残りは出稼ぎなどの副業で収入を得ていました。出来れば出稼ぎに行かず、家族と過ごしたいと皆さん話しており、レモングラスの栽培を普及することが状況の改善につながりそうです。そのことを説明すると、2家族とも試験的に雨季に入ったら10aずつ栽培してくれることになりました。



地元農家のポウさん

◇コンポンチュナン州焼き物工場視察

農場と同じコンポンチュナン州にある焼き物工場を視察しました。工場ではコップや、花瓶、お皿のほかに、精油で使うディフューザー（精油の香りを飛ばすもの）が作られていました。工場には日本から送られてきた耐火煉瓦で作った窯があり、注文から焼き物ができあがるまで、約1ヶ月半かかるそうです。その他に耐火煉瓦の成型機なども置いてあり、カンボジアではここでしか耐火煉瓦を作っていないそうです。同じコンポンチュナン州で作られたディフューザーとレモングラス精油を、セットで買ってみたいかがでしょうか？



ディフューザーとレモングラス精油

◇レモングラス畑灌水開始

1月のカンボジアは乾季のためほとんど雨が降りません。そのためレモングラスを収穫し続けるには、毎日計画を立てて灌水を行うことが重要です。農場にあるため池からポンプでくみ上げた水は、75cm間隔に穴を開けた細い塩ビ管を通じてレモングラスの株元に届くようになっています。1日2回パイプを移動して水を撒いています。農場には2台のポンプがありますが、10日に1度灌水を行い管理できる畑の広さは約2haぐらいです。その為ため池に近く、状態のよい畑を選んで灌水を行います。



レモングラス畑灌水中